

## インターロッキング用化粧マンホールふた (OMIR-D) 施工手順ならびに注意事項について

この度は、ダイドレ製品をご使用頂きまして誠に有難う御座います。本書の内容をよくお読みの上、正しくご使用下さい。



適用の範囲および安全荷重を超えた車両が通過しないようにして下さい。破損する事があります。

### 【施工手順ならびに注意事項】

#### 1. 位置決め

ふた開閉作業等を考慮し、設置場所を決めて下さい。ただし、傾斜地でのご使用はお控え下さい。傾斜地に設置致しますと設計通りの安全荷重が確保されない事があります。

#### 2. 高さ調整

コンクリートで枠全体を受ける状態にして下さい。枠全体で受けないと設計通りの安全荷重が確保されない事があり、枠の破損等の事故及びケガの原因になります。

枠の上面と床の仕上げ面は、同じ高さになるように施工して下さい。段差ができますと、つまずいてケガをする原因になります。

#### 3. 枠周辺の根巻き

枠のずれ防止のために、枠周辺をコンクリートなどで根巻き処理して下さい。

#### 4. 当社のインターロッキングブロック用化粧マンホールふたは、高さ 60 mmのブロックまで対応できます。(ふたの充填深さは 70 mmあります。)

### ●OMIR-D 施工例

